



竣工二月十日頃

昭和三十三年の歳末に氣  
を遣ひ、拙方に明かるい新年を  
迎へていたゞきたいと心あ  
たまふる金品の寄贈をうけ

××××× 歲末のさきの ×××××

××××× あたにかい贈り物 ×××××

(責任者小娘とし)

一〇二点 二宮町婦

メートル法

二宮町青年会県外派遣  
一、趣 旨  
旧來の穀を破り、日本の若人として、青年会の日常  
生活を通じ、地域を越えてお互に精進のゆくまで、  
膝をつけ合せ話し合い、如何に善く、如何に惱み  
如何に仲間と励まし合ひながら新しい町づくり努力  
し、していかうと姿を、此眼で見、此の耳で聞  
き、そして此の口で確めようという事から、本年は  
新潟県の仲間を選び交歓する計画を立案した。

イ、二青會員繪圖  
ロ、二宮町郷土誌  
ハ、その他

一、話合ひ内容

イ 青年学級の運営状況  
ロ 青年団の権及運営状況  
ハ 青年団に対する村の援助状況  
ニ 青年団の活動状況

い公正に決定すべきと存じます。かくて一月中旬に従事員を決定し仕事に慣習せし爲に他黨実地生に講習見学させ十分準備を整へ置べきです。次に給食費の事ですが、之を委員会を作つて定めて頂くのですが、学

昨年三月PTAの皆様の確い要望に町長も議会も之をこたへられ愈々実施のこととなりましたが、此の間色々と御協力を頂き誠に有難く御礼申し上げますと共に今後其御尽力を頂きたく御願

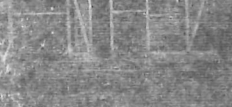
|                                                                                                                       |                                                                                                                  |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>本学の児童にそれぞれ配<br/>わいたしました。</p> <p>●現金</p> <p>金二、〇〇〇円 二宮<br/>町婦人会</p> <p>金一〇〇〇円 山西<br/>六六一番地 松本キョ<br/>金一、二二二円日本社会</p> | <p>今年から實施</p> <p>メートル法の完全実施期<br/>日は一月一日より實行され<br/>て居ります。</p> <p>当二宮町に於ては、関係<br/>各方面の絶なる御協力と<br/>御援助により、商取引面に</p> |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

新潟県中くびき郡中郷村青年団  
（新潟県中くびき郡中郷村教育委員会）  
信越本線 二本木駅下車  
日 程  
二月五日より二月十日まで  
二宮駅発十九時四十九分  
五日迄  
上野発直江津行夜行十三時〇五分

3 新生活運動  
 5 社会活動  
 7 部落団活動  
 外部組織の状況  
 一、派遣団動向  
 一月十四日午後八時  
 十七日主 〃  
 巡遊第一回会合役場  
 新田支部長会議  
 カンパ運動の依頼

用材、五ノ九七（四四）、ボ  
道工事四九七（四四）、ホ  
ンブル七〇（二）と夫々請）  
の採用と、魚肉、野  
乾物類、調味料、燃料  
油等、物資の購入パン  
栄養士は厭々作成す  
に似、理想的な調理室、  
完備し、学校給食を開始  
したので、機械類も現在に於  
て最良品購買契約をしま  
した。建物にしても機械食  
器類にしても業者は犠牲を  
覚悟して出来るだけ良いも  
りですから、健康で清

樹に上ると朱納が  
多くて困  
つていま  
す。給食  
の児童の  
栄養健康  
を考え家  
庭に於け  
る食生活  
の改善と  
重視され



|             |        |                |
|-------------|--------|----------------|
| 金一〇〇〇〇円     | 民生堂    | 又工業及び農漁の産業面に   |
| 員一同         |        | にも完全に実施されました   |
| 金、〇〇〇〇円     | 二宮一    | 事、各位の認識が如何に    |
| 〇六二番地       | 吉野健二   | に高まりつつあるかと云う   |
| 金一〇〇〇〇円     | 元町     | 事が実現されたのであります。 |
| 添田為子        |        | 今後如何に営業が煩らわし   |
| 金七〇〇〇円      | 上町小沢敏  | くとも、絶対に旧尺貫法は   |
| 金五〇〇〇円      | 篤志堂三名  | 忘れて使召せぬと、堅き決   |
| 心をもつて、営業します |        | よう年頭に於てお願いしま   |
| 三九六点        | 二宮町中学校 |                |
| 五一点         | ときわ会   |                |

六日金……二本木駅着（朝）前七時四十二分着  
 歓迎交歓会 記念品贈呈 分泊  
 七日土……村内視察 話し合い 資料公開 分泊  
 八日土……話し合い 分泊  
 九日月……レクリエーション（スキー実習）  
 二本木駅発夜行 二本木発五時五十分  
 十日火……上野駅着十四時三十分  
 二宮駅着十六時四十五分 解散  
 1 結婚の簡素化運動  
 2（「青春会共同結婚式」のスライド上映）  
 3 資 料

二、三日木 〃 派遣団第二回会合  
 二七日火 〃 〃 第三回会合  
 二月三日火 后五時 壮行会 公民館  
 五日水 后七時 出発  
 十日火 前十一時 帰朝  
 二月 十日火 解団式  
 二一日土 后八時 派遣団報告会  
 (役割を担に依り各人が研究結果報告をす)  
 〃 尚後日記録を印刷し保存、公表する。  
 〃 教育委員会旅費補助 一〇、〇〇〇円  
 〃 二府会派遣資金カンパ 五、五〇〇円

締切 2月5

[illegible]

一、主権  
自治庁  
都道府県選挙管理委員会  
連合会  
公明選挙連盟  
二、感想文の標題  
新有権者としての選挙に  
対する自覚  
三、枚數  
一百字詰原稿用紙十枚以  
内、又は四百字詰原稿用  
紙五枚以内  
四、応募資格  
昭和十四年十一月一日から  
昭和十四年十二月三十一  
日までになされた者  
五、締切期日  
昭和十四年二月五日（  
当日消印のある郵送作  
品は受理します）  
六、提出先  
東京都千代田区霞ヶ関  
の二  
自治庁選挙局管理課  
七、選考  
選考は、朝日、毎日、読  
売各新聞社政治部長、ロ  
本新聞協会編集部長、公  
明選挙連盟常務理事、都  
道府県選挙管理委員会連  
合会長及び自治庁選挙局  
長をもつて構成する選考  
委員会が行います。  
八、入選者發給  
昭和十四年四月五日前付  
公明選挙時報に入選者氏  
名及びその応募作品を發  
表するとともに、入選者  
に通知します。  
賞状及び賞金  
入選者中一等から三等ま  
での者に対し、自治庁長

官が賞状及び次の賞金を贈呈します。

一等一五、〇〇〇円・一作品  
二等五、〇〇〇円・二作品  
三等三、〇〇〇円・三作品

日十、応募注意

公一応募者の住所、氏名（ふりがなを附すること）  
性別 生年月日及び職業  
（具体的に書くこと）。学生の場合は、学校名、学部及び学年を書くこと。  
を原稿の末尾に明記すること。

2 感想文封入の封筒の表面に左下「感想文在中」と明記すること。

3 応募作品は返却しません  
4 優秀作品がない場合には入選者がいないことがあります。

|       |      |      |      |      |      |      |     |             |    |            |    |    |
|-------|------|------|------|------|------|------|-----|-------------|----|------------|----|----|
|       |      |      |      | 團員   | 事務局長 | 副団長  | 補団長 | 団長          |    |            |    |    |
| 杉山富久子 | 杉崎才子 | 油田啓介 | 二見恭二 | 尾上武  | 川口喜宏 | 岸さと子 | 原義勝 | 大胡政男        | 氏名 | 青年會<br>現役職 | 職業 | 年會 |
| 社長大   | 部長   | 支部長  | 支部長  | 支部長  | 次務局長 | 副會長  | 會長  | 指導部<br>公務員層 |    |            |    |    |
| 社會社員  | 農業   | 公務員  | 農藥   | 國鉄職員 | 公務員  | 社會社員 | 公務員 | 教育委員會       |    |            |    |    |
| 22    | 22   | 21   | 23   | 29   | 23   | 23   | 29  | 28          |    |            |    |    |

[illegible]

## 新潟県と交歓

二、三日木 〃 派遣団第二回会合  
 二七日火 〃 〃 第三回会合  
 二月三日火 后五時 壮行会 公民館  
 五日水 后七時 出発  
 十日火 前十一時 帰朝  
 二月 十日火 解団式  
 二一日土 后八時 派遣団報告会  
 (役割を担に依り各人が研究結果報告をす)  
 〃 尚後日記録を印刷し保存、公表する。  
 〃 教育委員会旅費補助 一〇、〇〇〇円  
 〃 二府会派遣資金カンパ 五、五〇〇円